

# みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071  
 社会福祉法人 松樹会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2190  
 URL <http://midori.jp.org/> E-mail [midorii@io.ocn.ne.jp](mailto:midorii@io.ocn.ne.jp)

編集責任者：理事長 中村 猛  
 編集：季刊誌発行委員会

## 冬季号所感

理事長 中村 猛



平成18年の幕が切って下ろされました。

昨年は暮れから大変な寒波が来襲して、地球温暖化はどこ吹く風と各地で大雪の被害がもたらされました。季刊誌“みどりの風”冬季号を皆様にお届けする頃には、寒波も去り、梅の蕾も

ほころぶ、かすかな春の到来を感じさせる頃かもしれません。

私達日本人は、春夏秋冬の四季折々の移り変わりを身に感じ、文化、文明の糧として、長い歴史の歩みを続けてまいりました。時代がどのように変わろうと、我々祖先からの伝統を踏まえた日本の姿は、誇りを持って世界に発信したいものです。

さて、現実には、700兆円を越える大負債をかかえた日本の立てなおしの改革の名のもと昨年来、次々とその負担が国民におしつけられております。税金、負担を上げ、給付を下げ、過去のつけを帳消しにという理論

のもと、本年度は医療福祉の引き下げが顕著となってまいりました。ますます将来への不安材料を増す政策で、経済の活性化、明るい社会が生まれるのか疑問であります。

とにかく社会の正しい方向性への政策が打ち出されるよう、誤った情報にまどわされず、しっかりと自分の意見を反映した政治への関与を大切にしたいと思っております。

私達の法人は、この地域の中で、明るい元気な社会に少しでも貢献できるよう、良き社会人となるよう、なお一層努力してまいります。良き組織には、高い志をもった文化の花が開きます。その香がこの季刊誌“みどりの風”に乗って皆様に少しでもお届け出来るよう、本年も頑張ってみますので、よろしくお願い申し上げます。



## ■ (仮称)枚方市地域包括支援センターみどり 4月開設について



厚生労働省は、この度、介護保険の財源が厳しくなりつつある中で、介護保険の永続性と2025年にピークを迎える超高齢化社会に対応するために、本年4月から新たに介護予防制度を創設し、新介護サービスシステムへの転換を目指す法的措置を講じられました。

新介護サービスシステムでは、新規に「地域包括支援センター」を組織し、高齢者が住み慣れた地域で可能な限り継続して生活ができるよう「4つの事業を3つの職種」が、包括的に高齢者を支援する仕組みであります。

「4つの事業」とは①相談支援 ②権利擁護 ③担当ケアマネジャーの支援 ④介護予防ケアマネジメント活動 であり、「3つの職種」とは、医療・保健・福祉の専門職種である①保健師 ②社会福祉士 ③介護支援専門員 がチームを組んで、介護サービス事業者や医療機関等との協力関係を強化すると共に、民生委員を含めた各種団体、自治会活動

等地域における多様な社会資源および人的ネットワークを構築し、高齢者支援を継続的かつ包括的に行います。

枚方市高齢社会室は市内を7分割し、当医療法人みどり会には国道1号線以西の枚方市駅中心部から枚方公園を経て光善寺駅周辺に及ぶ地域が担当地区に指定されました。当センターは交通至便な枚方市駅周辺に事務所を設置し、当該地域に居住される高齢者の様々なご要望やご相談に対応してご期待にそえるよう努めて参る所存であります。

医療機関はじめ介護サービス事業所各位、さらに地域にお住まいの皆様方には、今後絶大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





■ 医局 便り

内科医師 高橋 輝子



例年に無い寒さ厳しい冬で、この2・3日の暖かい日差しにほっとしています。

当院に勤務して、今年の春で4年が過ぎようとしています。

以前は高槻赤十字病院で血液内科医として勤務していましたが、長男の出産を機に当院で働くことになりました。もちろん初めは、診察する疾患も違えば患者さんの年齢層も違うと戸惑うことし

きりで、療養型病棟や老人保健施設、グループホーム、ケアハウス等の区別もつきませんでした。この4年間に老人医療をはじめ、公的病院と民間病院、病診連携、福祉施設や在宅医療との連携など地域医療の重要性も経験し、これからも地域の皆様に必要とされる病院を目指していきたいと思っております。また、NST（栄養サポートチーム）やICT（感染症コントロールチーム）等のチーム医療、週に1回の画像症例カンファレンスにも取り組んで医療の質の向上に励んでおりますので、今後ともよろしくお願い致します。

最後になりましたが、私生活では主人（内科医）と4歳の息子・2歳の娘の4人家族です。幼稚園・保育園と病院の往復の毎日ですが、今年は息子とテニスでも始めようかと相談しています。公私ともども御指導・御鞭撻よろしくお願い致します。



■ 長尾駅前に新しく '中村記念病院' 4月開院！



本年4月に新しい中村記念病院が開院いたします。枚方市初となる、リハビリテーション専門病院（83床）です。回復期リハビリテーション病棟では、脳血管障害・骨折・廃用症候群等を発症後、早期に専門的なリハビリテーション医療を提供します。また、療養病棟は、主に日常生活動作の改善をはかるための、リハビリテーション・ケア・医療などを提供いたします。両病棟とも、病気や入院治療により低下した身体機能回復のため、リハビリテーションを提供し、家庭や職場等への復帰ができるよう総合的に支援を行います。

リハビリテーション施設環境は、理学療法室・作業療法室・2室の言語療法室を設置し、特に300㎡の理学療法室には柱がなく、採光を十分に取り入れて広く明るい環境を整えさせて頂きました。また、100㎡のリハビリガーデンを敷地内に設置し、スロープに勾配を複数持たせるなど工夫を凝らしたものとなっています。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士ら、約20名が中心に携わり、手厚いリハビリテーションを提供できる環境にあります。また、医師をはじめとし、看護師・介護福祉士・薬剤師・管理栄養士・社会福祉士などの多彩なスタッフと、患者さま・ご家族さまと話し合う機会（カンファレンス）を定期的に設けさせていただき、患者さまを中心とした「対話」のある医療を目指したいと考えております。

安心して地域に復帰し、在宅での生活を営めることを適切にサポートできる病院を目指し、より良いリハビリテーション医療を提供していきたいと考えております。

■ おくすりのお話

薬局長 岡田 順子



【薬の正しい使い方とは？】

医師、薬剤師の指示どおりに使うことが治療効果を得る中で最も重要です。何故なら、薬同士が互いに作用し合って効果を強めたり弱めたり、又腎臓や肝臓などが悪い場合に使えない薬もありますし、体の状態には個人差もあり、同じ薬でも効き方は異なりますので、正しく飲むことが、薬の副作用を防ぐためにも大切なことです。

【薬の副作用を防ぐには？】

診察時に、いつも飲んでる薬（市販薬・他院で処方された薬・健康サプリメントなど）又は過去に薬を飲んで起きた症状など医師・薬剤師に知らせることで多種類の併用による副作用や体質による副作用を防ぐことができます。

【薬を飲み忘れた時は？】

うっかり薬を飲み忘れた時は、思い出した時に服用します。但し、次の服用時間が近い場合は忘れた分は服用しなくてもかまいません。しかし、糖尿病治療薬の中で食直前に服用する薬の場合は、忘れた分は服用せず、次の食事の食直前に必ず1回量を服用して下さい。その他にも色々制限がある薬もありますので、一度薬剤師に問い合わせして下さい。

【病院薬剤師への問い合わせは？】

薬に関して医師に直接話し辛いこと（例：薬を飲み忘れた時、薬を飲んで起きた症状、薬を飲みたくない）などありましたら、薬局にお電話して下さるか、窓口にお越し下さい。薬剤師がいつでもご相談にお応えいたします。

【ジェネリック医薬品とは？】

新薬メーカーが開発し承認された医療用新医薬品は、一定期間、特許を持っています。その特許が終了後、厚生労働省に承認された同じ成分・同じ効き目の価格の安い医薬品をジェネリック医薬品と呼びます。

当院は厚生労働省の指導に基づき、ジェネリック医薬品を積極的に使用して、患者様の医療費負担の軽減に努力しております。外来受付にジェネリック医薬品お願いカードを置いてありますので、ジェネリック医薬品をご希望の方はカードを持って診察の際に医師に渡して下さい。



## ■ なごみの里・看護部門紹介

看護師長 中山 佳津子



お蔭さまで、なごみの里は今年2月で、7年目を迎えました。現在、入所者150名の方々の看護職員22名と介護職員45名で日常生活の支援や健康管理のお世話をさせていただいております。

介護老人保健施設は、利用されておられる方々に、在宅へ向けて、日常生活の動作が向上するよう支援を行う施設ですが、在宅での生活が難しい方も多く入所されているのが現状です。

入所されてから定期的にカンファレンス等を全職種で行い、個々の方々の今後の生活の方向付けや月々の介護とりハビリの評価を行っています。

高齢の方々の体調は変化しやすく、また、自分の体調をも、うまく伝えることができない方が多いため、個々の方々の状態を把握し、判断し、予測することに努め、日夜技術の向上に励んでおります。

更に、法人全体の母体である中村病院の看護部とは医療介護に関する情報を交換し、看護・介護の質の向上を目指しスタッフ一同頑張っていますので、利用者様・ご家族様

を始め、地域の皆様には、われわれ施設の職員へのご意見等がございましたら、お聞きかせ下さいますようお願いいたします。

厚生労働省を始め、医療業界の動向が目覚しく変わっています。私たち保健医療に従事するものとしては常に情報収集のアンテナを張り巡らして、この限られた日本という環境の中で、私たちが幸を感じられる社会にするにはどうすればいいかを考えていきたいと思っております。

## ■ 習字の会のこと

ボランティアグループ「北銀河15」  
内山 策郎



1年半位前から毎月1回習字の会を担当しています。通所リハや3・4階の利用者さんの中には師範の資格を持っておられるに違いない能筆・麗筆の方々がおられ、無手我流の私は毎回冷汗三斗の思いです。

ただ、私の姉が書の専門家で最初に「なごみの里」で指導をしてもらい、姉から毎月送って来る専門誌や手本を参考にし、また、宮澤賢治の詩や面白い川柳などを手本とするアイデアも取り入れています。

会に参加される皆様が「次はいつですか」とお聞きになる程、楽しみにしていただいているのが何よりの励みであり、喜びです。



昔の餅つきのお話などを聞きながら、若い職員達はコツを教えてもらい、楽しく作業していました。

その後、甘い「ぜんざい」に、搗き立てのお餅を入れ「おいしい、おいしい!」といいながら、みんなで召し上がっていただきました。

職員ともども楽しいひと時を過ごしました。

## ■ 餅つき大会



なごみの里では1月18日に恒例の餅つき大会を開催いたしました。

利用者様が見守る中、若い職員を中心に杵を振り上げ、大きな掛け声と共に、みるみるうちにもち米がやわらかいお餅に変わっていききました。

利用者様の中に、見ているうちに熱が入り、餅つきに参加され、杵を振り上げてがんばっておられました。まわりの皆様も昔、自宅で経験なさったようで懐かしく見ておられました。

出来上がったお餅は手早く千切り、小さく丸められました。

## ■ 在宅部門

居宅づくみ 所長 丹井 美千代

### ■ 日々 感じること

毎日利用者様宅へ訪問し、ふと感じたり利用者様（特に女性）と共感しあう話があります。

それは、体型についてです。若い頃は痩せていた方でも年齢を重ねるごとに体型が崩れるばかりでなく、体力も当然のように落ちていきます。

つい数ヶ月前までは「ちょっとそこまで…」と言い一人で散歩ができていたのに、「寒いから…」と言ってお正月の間一歩も外に出なかつたら途端に思うように歩けなくなっていた…などという事は日常茶飯事です。

そこで、体型と体力を維持する目的で私自身数年来ウォーキングに取り組んでいます。ウォーキングと言っても公園を歩く「ウォーキング」ではなく、巷で流行っている「デュー

ク更家のウォーキング」です。これは、痩身目的だけでなく姿勢を正しくすると同時に、筋肉を鍛え上げるのが目的の運動です。習い始めて足掛け3年になります。習い始めた当初は5kgくらい一気にやせましたが、それ以降は体重は横ばい…ですが以前のように大食しても太らない身体にはなりました。それと同時に体力も随分と付き、少々長い時間歩いても疲れなくなりました。これは新規の利用者様のお宅がわからず、歩いてご自宅をさがすのにかなり役立っています。

この4月から介護保険では予防介護サービスが始まり、私達ケアマネジャーも何らかの形で役割を担わなくてはなりません。

利用者様には運動の必要性を今まで以上に呼びかけ、そして、自身の来るべき時に備えて、これからも体力の維持向上に努めていきたいと感じています。



## 特別養護老人ホーム「いこいの里」 工事着工予定

社会福祉法人松樹会が建設準備を進めておりました特別養護老人ホーム「いこいの里」（入所60名、短期入所10名、デイサービス30名他）が、枚方市交北地区に2月から工事を着工します。完成は平成19年1月末を予定しています。設計のコンセプトは、建物内部が街のように多様な場所（パブリックな場所からプライベートな場所まで）を持ち、居室は一軒一軒の家のように感じられるように計画しています。また、田園風景や旧集落の広がる周辺地域の自然や風景を享受し、自然とともに暮らせる建物（光・風・緑を取り入れる）となるように考えています。



建物正面イメージ



デイサービスセンター側イメージ



中庭イメージ

## デイサービスセンター長尾紹介

生活相談員 山崎 豪

デイサービスセンター長尾（以下 デイ長尾）は利用者定員20名と少人数でアットホームな雰囲気の通所介護です。昨年はモノ作りに特に力を入れ、風鈴の絵付けや等身大の菊人形作成に取り組み、利用者様より好評を頂きました。

平成18年4月の介護保険法の改正により予防給付の見直しが行われます。予防給付では選択的なサービスとして「運動器の機能向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」が取り入れられます。デイ長尾では今まであん摩師によるマッサージや体操などで機能訓練に取り組んでまいりましたが、2月からさらに「オープン陶芸」を行います。

指先を細かく動かすことでレクリエーションだけでなく介護予防としても効果が期待できると考えておりますので、是非一度お試しに参加してみませんか。

### ●第1・3木曜日：オープン陶芸

オープンで焼ける陶土を用いた陶芸をおこないます。まずは単純な形のものから始める予定にしておりますので参加の記念に作品を作ってみませんか。



## 年頭にあたって思うこと

つくしんぼ習字同好会 入江 恵華

2003年9月より、松樹会にてお習字教室を開いて早いもので2年4ヶ月がすぎ、今では長尾と藤阪で10人の方達と、一緒に勉強させて戴いています。

秋の作品展も一昨年と昨年の2回出品させて戴きました。

年毎に腕を上げてこれ私もうかうかとしておれません。

何よりも皆さん前向きで明るく、楽しくお習字に取り組んでおられて、私のほうが元気をもらっています。

人生経験豊富な先輩の皆さんに、私はいつも教えられ感謝。

まだまだ未熟者ですが頑張って、楽しく努めたいと思っております。

今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

※昨今には自然災害や、子供たちを狙った事件が多く、心が痛みます。それで今年の書き始めは「和顔愛語」（わがんあいご）としました。

人は、やさしい言葉を語るとき、顔もおのずからやさしくなります。そんな様子を「和顔愛語」といいます。



## 各施設連絡先

### ●社会福祉法人 松樹会

つくしんぼ長尾 072-868-2190

デイサービスセンター長尾 072-868-2190

有償運送事業(福祉タクシー) 072-868-2190

つくしんぼ藤阪 072-868-2191

たんぼぼ藤阪 072-868-2197

居宅介護支援センターつくしんぼ 072-868-4394

### ●医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071

中村記念病院 072-868-2070

地域医療相談室 072-868-2071

なごみの里 072-868-2072

在宅介護支援センターなごみ 072-868-2072

配食サービスセンターなごみ 072-868-2072

みどり介護学院 072-868-2194

たんぼぼ長尾 072-868-2195

居宅介護支援センターなごみ 072-868-4391

訪問看護ステーションみどり 072-868-4392

訪問介護ステーションみどり 072-868-4392

### —— 編集後記 ——

昨年秋からの介護保険の改定・今年4月からの医療報酬の改定は、私たち医療従事者にとりましてはかなり厳しい改定になる事を覚悟しなくてはなりません。しかしどんなに厳しい環境下にあっても両法人の力と叡知を結集し、患者様の立場に立ち、医療の質の向上を図れるよう取り組んでまいります。

更なるご支援を頂きますようお願い申し上げます。

季刊誌編集委員会

連絡先 ☎072-868-2071

法人本部 松田